

概要版

第六次

鹿島市総合計画

KASHIMA CITY
MASTER PLAN
2016-2020

平成28年3月
鹿島市

ごあいさつ

第六次鹿島市総合計画の策定にあたって

私たちのまち「鹿島市」は、昭和29年4月1日に誕生し、本年で62年目を迎えました。

これまで鹿島市は、先人たちのたゆまぬ努力に支えられ着実な発展を遂げてまいりました。

市政の前半期にあたる昭和50年代までは、本市の基幹産業である農林水産業をはじめとした生産基盤の整備に力を注いできました。また防災対策事業、特に治水対策についても優先的・集中的に進めてきたことにより、かつては水害常襲地であった本市が、今日では災害の少ないまちと実感できるまでになりました。

後半期の昭和60年代に入り、市民の多様なニーズに応えるために中心市街地や都市公園、エイブルや国道207号バイパスの整備など、社会基盤や生活環境の整備も重点施策として取り組んでまいりました。また、鹿島ガタリンピックや鹿島酒蔵ツーリズム[®]など、「鹿島らしさ」を活かした市民発の先駆的な取り組みも誕生しています。

このような歴史を経て、これから市政をどのように進めていかなければならぬか。キーワードは「安全・安心」と「かしま創生（地方創生）」の2点であると考えています。

平成23年3月の東日本大震災の発生以後、全国的に防災・危機管理に対する意識が一変し、「安全・安心についてのニーズはますます高まっております。そのため、本市においては、防災拠点施設の建設や市内全世帯への防災情報受信機の設置などを進めており、ハード面においては全国でも高い水準の装備を有することになります。今後は、これらを十分に活用できるよう市民の皆さんと共にソフト面の備えを強化し、「安全・安心」のまちづくりを進めていかなければなりません。

次に、私たちのまち「鹿島市」には先人から受け継いだ豊かな自然や風土、歴史や文化、ものづくりの力、地域の絆など、誇るべき財産があります。これらの資源を掘り起し、さらに磨きあげることで「かしま創生（地方創生）」を実現していくことが必要であると考えております。

そのため、第六次総合計画では「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」づくりのために「しごと・ものづくり、ひとづくり、まちづくりの好循環を目指す」ことを基本理念として、人口減少や少子高齢化などの地域課題に向き合い、鹿島の魅力を活かしたまちづくりに取り組んでまいります。



結びに、本計画の策定にあたり、熱心にご審議を賜りました総合計画審議会委員の皆さんをはじめとして、アンケート調査や意見交換会を通じて貴重なご意見・ご提案をいただきました市民の皆さん、ならびに関係各位に心から感謝申し上げます。

平成 28 年 3 月

鹿島市長 橋口 久俊

1 総合計画とは

総合計画とは、鹿島市の将来像やそれを実現するためのまちづくりの基本的な方向性を明らかにしたもので、市のすべての活動の根拠となる最上位の計画です。

この計画は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」から構成されており、基本構想・基本計画は平成28(2016)年度を初年度とし、5年後の平成32(2020)年度を目標年次としています。



2 第六次総合計画策定の意義

第五次までの総合計画は、地方自治法により策定が義務付けられていましたが、平成23年8月1日に地方自治法が改正され、義務付けが廃止されました。

これにより総合計画を策定するかしないかは自治体の独自の判断によるところとなりました。鹿島市においては、以下の理由により、第六次総合計画を策定します。

- ① 「市の様々な分野にわたる業務がバラバラにならないよう、目指すべき方向性を決定するため」
- ② 「市民と行政が情報を共有して、みんなで鹿島のまちづくりに取り組むため」

これらを実現するためには、市の最上位計画であり、それぞれの個別計画と体系をなす総合計画を策定することが最も効率的であると判断したためです。

総合計画はまちづくりの基本的な方向性そのものであり、これを策定し、明らかにすることは目標をみんなで達成していくための意思統一の手段だと捉えています。

1 目指す都市像

「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」

鹿島市が目指す都市像は「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」です。

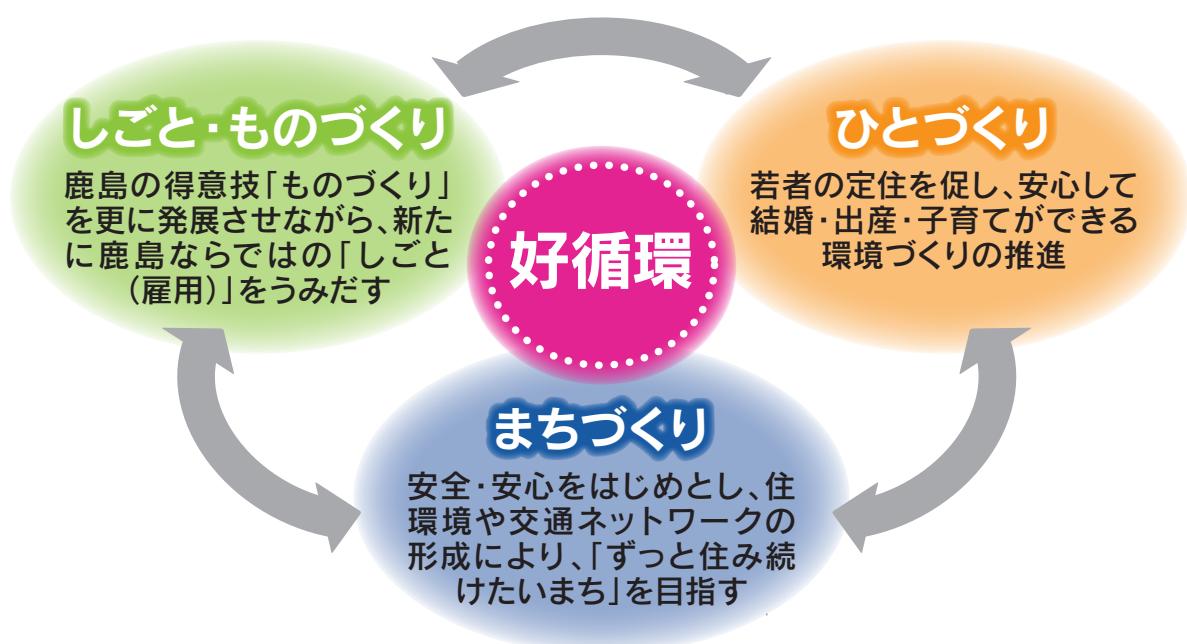
本市がこれまで育んできた「豊かな自然や風土」「伝統や文化」「ものづくりの力」「地域コミュニティの輪」などの「鹿島らしさ」を活かしながら、みんなが安心して“働き”“暮らし”“育て”“学び”“楽しみ”、生涯を豊かに暮らしていくようなまちづくりに取り組みます。



2 施策の基本的考え方

Point 1

「しごと・ものづくり」「ひとづくり」「まちづくり」の好循環を目指します。



しごと・ものづくり で「若者の流出に歯止めをかけ」

ひとづくり で「若い世代が安心して働き、子育てができる環境をつくり」

まちづくり で「鹿島の魅力を活かしたまちづくり」を実現する

これらが好循環でつながることで、人口減少に歯止めがかかっていくと考えます。

Point 2

みんなですすめるまちづくり

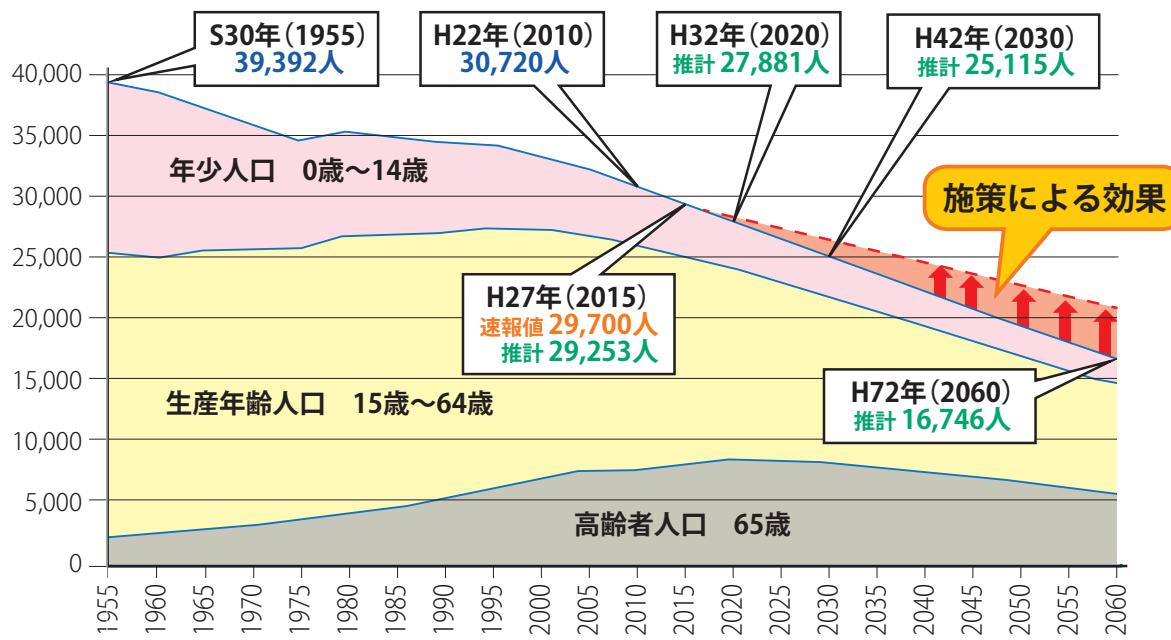
市民一人ひとりやボランティア団体など地域で活動する人々や企業、行政などが情報を共有し、連携し合うことで、地域の課題に柔軟に対応していきます。



3 人口の将来展望

5年後の人口減少幅ができるだけ小さくしながら、将来にわたる急激な人口減少のカーブを緩やかにさせていくことを、第六次総合計画における人口の将来展望の考え方とします。

【鹿島市の将来推計人口と施策による効果イメージ】



(出典) S30年(1955)～H22年(2010)の人口国勢調査 確定値
H27年(2015)の人口国勢調査 速報値(H28年2月)
H27年(2015)～H72年(2060)の推計人口日本の地域別将来推計人口(2013年(H25年)3月推計)
(国立社会保障・人口問題研究所 H25.3.27公表値)

第1章 産業の振興

1 農業・林業・水産業



施策の展開方向 (抜粋)

- 地域農業の担い手などの育成や農地の集約化で生産性向上に向けた取り組みを推進します。
- TPPなどの国際競争の中、農業生産コストの低減や経営安定の取り組みを支援します。
- 国の米政策の見直しが行われる中、ニーズに応じた農作物の生産振興に取り組みます。
- 中山間地域では地域特性を活かした新規作物導入や鳥獣被害対策に取り組みます。
- 海苔養殖などの振興により漁家経営の安定を図るとともに、海域環境保全活動を支援します。

	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
1 農業生産基盤の整備	農道整備など 浜東部地区H29、西葉地区H31 ほ場整備 音成地区H31	
7 米政策改革に対応するため需要に応じた生産への取り組み支援	酒造好適米面積拡大 19ha→25ha 主食用米以外(飼料米、加工米等) 8ha→27ha	
9 有害鳥獣対策の強化	捕獲・被害防止技術研修会の開催	
13 水源かん養林の保全と整備	環境林の整備 山浦浄土地区 6ha	
17 漁港施設の保全と整備	漁港施設保全など 浜漁港H32、飯田漁港箱崎地区H30	
18 漁場環境改善の推進	海苔貝類区画漁業権内の海底耕耘 1,300ha	

2 商業・工業



施策の展開方向 (抜粋)

- 商工業における「ものづくりのまち鹿島」を推進します。
- 既存中小企業・新規創業者および第2創業者を支援します。
- 市民交流プラザ「かたらい」などとの連携を促進し、中心商店街の再活性化に取り組みます。

	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
1 中小企業・新規創業者への経営指導および専門家によるアドバイス窓口の一元化	かしまビジネスサポートセンター運営 経営課題などの相談件数 のべ30件／月	
6 商店街の再活性化のためのソフト事業の推進	各種ソフト事業の実施による通行量の増加	
7 空き店舗等の解消に向けた事業の推進	情報発信などによる空き店舗解消 3件以上	



3 新たな産業の創出と支援

施策の展開方向 (抜粋)

- 「海道しるべ」を活用し「ものづくりのまち鹿島」のアピールを積極的に行います。
- 農商工連携・6次産業化を支援し、新たな産業創出を図ります。
- 産学公連携による新たな地域資源の掘り起しを行い、付加価値のある商品開発を支援します。

	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
3 産学公連携による魅力ある産業創出の推進	新商品開発 3品	
6 特色ある農産物の定着	新規戦略作物栽培および販路の定着	

4 観光

施策の展開方向 (抜粋)

- 観光振興を通じた交流人口の増加を目指します。
- 鹿島酒蔵ツーリズム®や干潟体験といった鹿島ならではの素材を活かします。
- 祐徳稻荷神社を核として、有明海や多良岳山系の自然や肥前浜宿などとの回遊性を高めます。
- 道の駅鹿島の観光拠点機能を強化します。



	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
6	効果的な広報媒体を使った情報発信の充実と営業活動の強化	毎年のべ100社以上の営業活動
9	鹿島酒蔵ツーリズム®の推進	モニターツアーなど通年型の取り組み 年4回以上
10	道の駅鹿島などの観光関連施設の整備	重点道の駅に選定された道の駅鹿島の整備・充実
11	訪日外国人旅行者の受け入れ態勢の整備	多言語パンフレットや案内・表記の充実

5 雇用と労働者福祉

施策の展開方向 (抜粋)

- 雇用の安定と就業場所の確保に向けて企業誘致を推進します。

	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
1	優良企業の誘致および地場産業の振興	優遇措置の維持と中小企業向け一元化窓口による支援

..... 第2章 福祉・保健・医療の充実

1 社会福祉(地域・高齢・障がい)

施策の展開方向 (抜粋)

- 自助、共助、公助の連携を推進し、地域で安心して暮らせるまちづくりに努めます。
- 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、福祉・介護施策を推進します。



	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
3	高齢者保健福祉計画の推進	・介護予防などを目的とした自主サークル立ち上げ ・認知症サポートー数 3,000人
5	障害福祉計画の推進	福祉施設から一般就労への移行 5人

2 児童・子育て支援

施策の展開方向 (抜粋)

- 家庭や地域、職場など、社会全体で子育てを支える環境整備に努めます。
- 市民交流プラザ「かたらい」に整備された子育て支援センターでの子育て支援の充実を図ります。



	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
1	子ども・子育て支援計画の推進	・病後児保育の実施 1か所 ・在宅保育への支援ほか
7	子育てマンパワーの育成	子育て支援従事者的人材育成とボランティア登録の推進
8	子育て世帯の個別ニーズの把握	相談窓口の集約と個別ニーズへの情報提供と利用支援

3 生活困窮者支援

施策の展開方向 (抜粋)

- 生活困窮者に対して、相談支援体制の充実を図ります。
- 稼働能力のある世帯に対しては、就労意欲の向上と就労を促進し、自立支援に努めます。

	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
2	生活困窮者自立支援事業による相談体制の充実	相談件数 10件／月
3	生活困窮者に対する就労促進と自立支援	就労実績 3件／年



4 保健・医療

施策の展開方向 (抜粋)

- 健康寿命を延ばし元気に生活が送れるよう、健康保持・疾病予防のための取り組みを推進します。
- 休日子どもクリニックや在宅当番医などの運営による救急医療体制の充実に努めます。
- 特定健診の実施や予防事業・早期受診の勧奨などの取り組みにより、健康向上を図ります。

	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
1	健康づくり・疾病予防対策の充実	・大腸がん検診受診者数 250人増 ・肝炎ウイルス検診受診者数 2,500人増
2	母子保健サービスの充実	・若年妊娠などへの訪問・不妊治療への支援
7	生活習慣病予防のための特定健診等の推進	・特定健診受診率60%・特定保健指導実施率60%

..... 第3章 都市基盤の整備・環境の保全

1 都市基盤

施策の展開方向 (抜粋)



- 広域幹線道路および市内幹線道路の整備を促進します。
- 路線バスなどの運行方法について、より使いやすくなるよう調査・検討に取り組みます。
- JR長崎本線の将来の上下分離方式に対する対応策について、早い段階から検討に着手します。
- 広域幹線道路の整備動向をみながら、農村環境と調和した土地利用の調査・研究に取り組みます。
- 肥前鹿島駅舎および駅前広場の整備に取り組みます。
- 居住の安定や定住促進のため、子育て世帯向け住宅の供給を図ります。

	主要施策 (抜粋)	目標・指標等
5	西牟田地区（商業地）の混雑解消を目的とした道路の整備	H32完了
9	公共交通体系全体の調査と地域公共交通網形成計画の策定、実施	H28策定
14	肥前鹿島駅舎および駅前広場の整備	H32着手
22	新規市営住宅の整備	H30完了
23	子育て世帯向け地域優良賃貸住宅の整備	H30完了

2 生活環境



施策の展開方向 (抜粋)

- 安全でおいしい水を安定的に供給するため、水道施設の計画的な整備・更新を進めます。
- 下水道施設の計画的な整備・更新を行うことで安定した汚水処理に努めます。
- 資源循環型社会を構築できる環境都市を目指します。

	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
2	水道施設の計画的な整備・更新	・配水管の更新 年1,000m ・新久保山配水池の築造 H31完了
6	下水道事業の見直し、新整備手法による整備促進	下水道供用開始世帯 3,879→4,520世帯
12	生ごみ堆肥化のための「生ごみ分別収集」実施	収集世帯数 1,000世帯

3 自然環境



施策の展開方向 (抜粋)

- ラムサール条約などに基づき、有明海の海域環境の保全と地域活性化等の有効利用に努めます。
- 人と自然が共生できる地球に優しい自然豊かなまちづくりに努めます。

	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
1	ラムサール条約に基づく普及啓発活動と活動拠点の整備	案内看板・トイレ・駐車場の整備 H29完了

4 伝統的町並みおよび集落の保全と活用



施策の展開方向 (抜粋)

- 重要伝統的建造物群保存地区（浜町地区・大村方地区）の景観の保存に努めます。
- 空き家となつた伝統的な建物を観光資源としての活用や入居者を募り定住促進を図ります。

	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
1	伝統的な建物などの修理・修景事業の実施	25件の修理・修景
3	道路美化化、防犯灯および案内板などの設置	H32完了
6	空き家になっている伝統的建物への入居促進	5年間で10戸の入居

5 安全・安心



施策の展開方向 (抜粋)

- 鹿島新世纪センターと防災情報伝達システムを核とした防災体制の強化に努めます。
- 地域の安全安心を支える消防団の体制強化・環境整備に努めます。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度はH32年度)
5	行政と住民が一体となった防災・減災体制の強化	・防災マップの作成・配布 ・緊急避難場所等に看板を設置
6	防災情報伝達システムの整備・推進	H28完了

第4章 教育文化の向上

1 幼児教育

施策の展開方向 (抜粋)

- 小学校と幼稚園、保育所、認定こども園が連携して、義務教育就学前の子どもたちを育みます。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度はH32年度)
1	幼保小連携の充実、強化	小学校と幼稚園、保育所、認定こども園との交流授業の実施

2 学校教育

施策の展開方向 (抜粋)

- 個を活かした、一人ひとりの能力を伸ばす教育を推進します。
- ふるさとに誇りを持ち、心豊かでたくましい子どもを育む教育を推進します。
- 人権・生命の尊重などの学習をとおして人を思いやる心を育みます。
- 快適な教育環境の整備に努めます。



	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度はH32年度)
2	教職員の資質の向上と指導力強化による学力の向上	学力向上サポーターの活用
6	各学校の特色などを活かした「ふるさと教育」の推進、拡充	地域学習の継続と発表の場の提供
11	ICT(情報通信技術)利活用教育の促進	タブレット端末の導入 H32までに全小中学校に整備
13	学校施設の計画的な大規模改造事業の実施	空調設備の導入 H32までに全小中学校に整備

3 社会教育

施策の展開方向 (抜粋)

- 誰もがいつでも・どこでも・何でも学べる環境と機会の提供を行い、生涯学習の振興に努めます。
- 社会教育関係団体と連携し、リーダーやボランティアの育成、青少年の健全育成に努めます。
- 地域コミュニティ活動や市民主体の組織活動を支援し、"地域の絆づくり"を推進します。
- 人権・同和問題に関する教育と啓発の推進に努め、市民生活に人権尊重の意識を根付かせます。



	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度はH32年度)
1	生涯学習センターを拠点とした市民主体の生涯学習の展開	エイブル俱楽部会員 1,000人
7	地域ぐるみで行う世代間交流の推進	親子季節ふれあい教室などの開催
9	図書館の利用促進および読書習慣の定着のための事業展開	市民1人当たりの貸出冊数 H26 9.29冊→H32 9.80冊

4 文化

施策の展開方向 (抜粋)

- 歴史資料・伝統文化・民俗芸能・伝統行事などを継承・活用し市民の郷土文化への理解を深めます。
- 新市民会館を整備し、文化芸術活動の創造・発信、多様な市民交流の拠点づくりに取り組みます。

	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
3	指定文化財をはじめ歴史的文献や遺構、建造物の維持、補修	鹿島城大手門の修理
7	新しい市民会館の整備による市民文化交流の場の提供	新市民会館整備 H31完了目標

5 スポーツ

施策の展開方向 (抜粋)

- 安心してスポーツができる環境の整備と施設の積極的利用を促進します。
- スポーツ施設の有効的利活用による交流人口の増加を図ります。
- 生涯スポーツの指導者育成とスポーツ機会の提供を増やし、心身の健康保持、増進を図ります。



	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
1	スポーツ施設の維持・管理台帳の整備	陸上競技場のトラック、クロカンコース、市民体育館の補修
5	スポーツイベントの誘致およびスポーツ合宿の推進	イベント・合宿誘致団体 のべ35団体

第5章 計画を推進するために

1 みんなですすめるまちづくり

施策の展開方向 (抜粋)

- 地域コミュニティなど、地域の主体的なまちづくりを支援します。
- 地域間交流やイベントを通じて交流人口の拡大につなげていきます。
- 男女共同参画社会の実現を目指し意識づくりの普及・啓発活動に取り組みます。



	主要施策 (抜粋)	目標・指標等 (目標値年度はH32年度)
8	個人番号カードなどを活用した行政手続きの利便性の向上	
9	各種イベントの開催支援、国内外の友好都市との交流促進	
10	鹿島を応援してくれる人への情報発信、ふるさと納税の推進	
11	男女共同参画社会づくりの推進	委員等の女性の割合30% H31

2 行財政運営

施策の展開方向 (抜粋)

- 多様化する市民のニーズに対応できる職員の育成に取り組みます。
- 社会経済情勢の変化に対応しつつ、財源の確保や市債の適正管理など健全な財政運営に努めます。
- 公平・適正な課税と収納率の向上により税収の確保を図ります。

	主要施策 (抜粋)	目標・指標等
1	時代に則した人事管理(適正な定員管理、職員研修の充実など)	
4	公共施設等総合管理計画策定による公共施設の維持管理経費等の適正化	H28策定

鹿島市役所 お問合せ先

	課名	電話番号	主な業務の内容
庁舎1階	市民課	63-2117	戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、パスポート、国民年金
	税務課	63-2118	市税の賦課、徴収
	会計課	63-2102	公金の収納および支払い
	福祉課*	63-2119	障がい者福祉、児童福祉、生活保護 ※H28.4.1～福祉課に名称変更
	保険健康課	63-2120	国保、後期高齢者医療、健康づくり、高齢者福祉、介護保険
庁舎2階	産業支援課	63-3411	農商工連携、六次産業化
	商工観光課	63-3412	商工業の振興、消費生活、観光の振興
	農林水産課	63-3413	農業・林業・水産業の振興
	農業委員会事務局	63-3417	農地の転用・権利移動および農業者年金
	都市建設課	63-3415	都市計画、市営住宅、道路橋梁の整備、伝統的町並み保存
	環境下水道課	63-3416	環境美化推進、廃棄物処理、公共下水道の計画・施工
	教育総務課	63-2103	教育委員会企画調整、学校教育への指導・助言、学校施設の管理
	生涯学習課	63-2125	社会教育の推進、文化、スポーツの振興
庁舎3階	総務課	63-2113	地縁団体、庁舎管理、人事管理、消防防災、交通安全対策
	企画財政課	63-2101	秘書涉外、広報、総合計画、地域振興、財政計画、予算編成、入札契約
	選挙管理委員会事務局	63-3418	選挙の管理・執行・啓発
	土地開発公社	63-2127	用地の先行取得
	人権・同和対策課	63-2126	人権・同和対策、男女共同参画
	監査委員事務局	63-2115	監査事務、検査および審査
4階	議会事務局	63-2104	市議会・委員会の運営
本庁舎以外の施設	水道課	62-3718	水道施設の整備・維持管理
	学校給食センター	63-2453	学校給食の計画・運営
	市民会館	63-2105	市民会館の運営、管理
	生涯学習センター	63-2138	生涯学習センター「エイブル」の運営、管理
	市民図書館	63-4343	市民図書館の運営、管理
	保健センター	63-3373	疾病予防、各種検診
	市民交流プラザ	63-3030	市民交流プラザ「かたらい」の運営、管理
	子育て支援センター	63-0874	子育て支援拠点、子育てに関する情報収集、講座の開催
	海道しるべ	63-8060	農林水産物その他の地域資源の研究および加工

第六次鹿島市総合計画 概要版

H28(2016)年3月

発行／佐賀県鹿島市

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1
TEL 0954-63-2111(代表) FAX 0954-63-2129
<http://www.city.saga-kashima.lg.jp/>

編集／鹿島市役所総務部企画財政課

総合計画に関するより詳しい情報(本編)は、上記のホームページでご覧いただけるほか、企画財政課や市民図書館でご覧いただけます。